

(一社) 日本非破壊検査協会 秋季講演大会講演募集

2020年10月28日(水)～29日(木)

会場

名古屋工業大学
愛知県名古屋市中区和区御器所町

募集テーマ

1. オーガナイズドセッション

(1)「鉄筋コンクリート構造物の検査・点検のための非破壊試験方法」

日本非破壊検査協会には、要素技術分野として、放射線部門(RT)、超音波部門(UT)、磁粉・浸透・目視部門(MT/PT/VT)、電磁気応用部門(ET/MFLT)、漏れ試験部門(LT)、応力・ひずみ測定部門(SSM)、アコースティック・エミッション部門(AE)、赤外線サーモグラフィ部門(TT)があり、これらを横断的にも捉えた応用技術分野の一つに「鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門(RC)」がある。

鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門(RC)では、要素技術分野の部門で扱われている要素技術に、部門にはなっていない要素技術(反発度等)を加え応用して、鉄筋コンクリート(RC)構造物に適用可能な非破壊試験・微破壊試験(ドリル削孔、小径コア等の利用)を検討し、システムとして構築している。

本オーガナイズドセッションでは、鉄筋コンクリート構造物に適用可能な各種非破壊・微破壊試験方法の理論、開発、適用事例、精度等の評価、解析、シミュレーション解析に関する研究論文を広く募り、意見交換を図るものである。

(2)「応力・ひずみ測定と材料評価」

複雑な現象の理解、強度評価、材料特性評価、さらには実構造物の検査などには計算技術のみならず実験・計測・データ解析技術の発展が不可欠となる。本オーガナイズドセッションでは、応力・ひずみ測定の分野における先端的な測定技術と、それら測定技術の各種問題への応用についての情報交換を行い、研究の発展へ資することを目的とする。

(3)「東海地区における製造工程検査事例」

東海地区は、自動車製造業を中心にモノづくりが盛んな地域である。製品の品質を確保するための製造工程での検査技術の開発も精力的に行われ、大きな成果を挙げている。検査は製品の品質を確保するために欠かすことのできない重要な工程である。製品の外観をチェックする外観検査は、長年、人間の眼による目視検査が主流であった。近年、省人化や検査の高度化を目指して、検査の機械化による結果の定量化・高速化・自動化へ向けての取り組みが行われている。

本企画では、東海地区の企業での製造工程検査における最近の先端的な取り組みを取り上げ、外観検査の自動化に向けたセンシング技術と認識技術(アルゴリズム)のそれぞれに特化したアプローチによる検査事例を紹介する。

(4)「インターナショナルセッション」

日本非破壊検査協会(JSNDI)は、2014年10月に韓国非破壊試験学会(KSNT)との友好協定を改定しました。これを機に、両協会がホストとして、今後、世界で活躍される若い研究者の方々の交流や意見交換ができる場を提供することに合意しました。これに伴って、本協会の秋季講演大会に英語セッションを設けることにしました。英語での講演の腕試しや、日本に留学している学生の皆

様の発表の場として、日韓以外の学生及び技術者の方々を含め、是非、秋季講演大会の英語セッションをご利用ください。なお、今回は特定のテーマに限らず、非破壊試験・検査についての講演を募集しておりますので、奮ってご応募ください。

2. 一般セッション

- 1) 放射線透過試験
- 2) 超音波探傷試験
- 3) 表面探傷試験
- 4) 応力・ひずみ試験
- 5) 赤外線サーモグラフィ試験
- 6) アコースティック・エミッション試験
- 7) 音響試験
- 8) 電位差試験

上記などに関する調査、研究、開発に関する技術報告。

3. 製品紹介セッション

技術開発の要素を含んだ製品紹介の発表とする。

当日、発表の補足として、カタログ、パソコン程度の展示を可能(1800mm × 500mm の机1台)とする。

(講演申込時に技術要素を明確に記入する。又、展示希望の有無を記入する)

申込方法

講演申込については、講演大会ホームページ(http://www.jsndi.jp/sciences/index2_1.html)のWEB受付からお申込みください。

申込書受領後、受領確認のご連絡を差し上げます。

受領確認の通知が届かない場合は、ご連絡くださるようお願いいたします。

講演申込期限 2020年6月26日(金)

問合せ先

〒136-0071 東京都江東区亀戸2-25-14

立花アネックスビル10階

(一社)日本非破壊検査協会 学術部学術課

TEL 03-5609-4015 E-mail: taikai@jsndi.or.jp

発表採択審査

講演申込みを頂いたものは、採択審査を行います。

講演要旨は採択審査に使用されますので、講演の内容を簡素かつ的確に表してください。

審査結果は、申込締切日の後、7月下旬に通知いたします。

なお、採択以後の講演題目の変更は認められません。

講演

1) 講演の言語

言語は、日本語又は英語とします。

英語による講演発表(講演原稿・講演発表共に英語)を希望の方は、必ず英文講演申込みをしてください。

2) 登壇者の条件

当協会の正会員又は学生会員および当協会が友好協定を締結している海外の機関の会員に限ります。(詳細は事務局へお問合せください)

なお、オーガナイズドセッションは、非会員の方でも

受け付けます。

- 3) 講演時間
討論時間 5 分を含む 20 分とします。
- 4) 講演証明の交付

当初申込まれた登壇者が講演された場合には、当協会の講演証明書を交付いたします。講演当日の登壇者が既登録者と異なる場合には、講演証明の交付はいたしません。

参加登録料

	事前(10/12迄)	10/13～当日
会 員	5,000	5,000
一 般	12,000	16,000
学生会員	2,000	2,000
学生一般	5,000	8,000
懇 親 会	5,000	5,000

講演前刷原稿の提出

- 1) 執筆要領は採択通知発送時に連絡します。
- 2) 本会所定のサイズ用紙(図、写真、表を含む)を用いて、一般セッションおよび製品紹介セッションでは 2 頁、オーガナイズドセッションに関する講演は 2 頁または 4 頁。
- 3) 提出期限 2020 年 8 月 28 日(金)

講演中の撮影

講演中のカメラやスマートフォン等による撮影は原則禁止としております。撮影される場合は、事前に登壇者の了承を得た上で、登壇前に座長へ申し出るようお願いいたします。

新進賞贈呈

本大会において講演発表された若手の会員の中から、優秀な研究発表者(登壇者)を選び、後日(一社)日本非破壊検査協会新進賞を贈呈いたします。

- 1) 当協会の正会員(個人会員、団体会員)または学生会員であり、大会期日内に満 30 歳以下であること。
- 2) 上記の条件に該当する発表者は講演申込書の新進賞該当欄に必要事項を記入しておくこと。記入がない場合は審査対象外となります。
- 3) 授賞対象者が非会員であった場合は後日、会員になる事を条件とします。
- 4) 既受賞者は対象外(当協会学術関連の他賞を含む)とします。

《新型コロナウイルス感染防止への対応》

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種イベントが中止されており、秋季講演大会組織委員会でも状況を注視しておりますが、現時点では開催の方向で準備を進めております。

今後の状況により変更の可能性がありますので、最新の情報につきましては、当協会ホームページでご確認ください。

【会場案内図】



- ・名古屋駅からおよそ 15 分
- ・JR 鶴舞駅から徒歩 7 分
- ・地下鉄鶴舞駅から徒歩 10 分
- ・地下鉄吹上駅から徒歩 10 分